

認知症の人と家族の生活支援委員会 研修 I

認知症の作業療法から考える地域のつどいの場

～図書館の新たなる挑戦～

1. 概要

図書館は、誰でも自由に本を読んだり借りたりすることができる場所です。ここ最近、図書館を認知症の人やそのご家族が想いを広げることができる場として用いようとする活動が盛んです。今回は、その先駆けとして全国で活躍され、都士会ニュースレターの認知症関連の書籍紹介を執筆されている川崎市立宮前図書館の舟田彰氏にご登壇いただきます。図書館がなぜ認知症と結びつくのか、地域の拠点の一つとして図書館をどのように利用すると良いのかをお話いただきます。また、住み慣れた街の中で、高齢者や認知症の人と家族のつどいの場としての図書館を活用する可能性について、舟田彰氏、地域包括支援センターの主任ケアマネの立場から墨田区むこうじま高齢者支援総合センターの小池初代氏、および、作業療法士の立場から認知症の人と家族の生活支援委員会の竹原敦氏とともに、認知症の人と家族に対する作業療法と図書館についてパネルディスカッションを行います。図書館が地域の人々の拠点の場となり得るように、新たな作業療法士の活躍の方法について考えます。

2. 講師

- 1) 舟田彰 氏 (川崎市立宮前図書館課長補佐、川崎市教育委員会事務局生涯学習部)
- 2) 小池初代 氏 (むこうじま高齢者支援総合センター、看護師、主任ケアマネ)
- 3) 竹原敦 氏 (認知症の人と家族の生活支援委員会、湘南医療大学、作業療法士)

3. 日時

2019年8月25日(日)9:30~12:30

4. 場所

ひきふね図書館 5階会議室 (墨田区京島1-36-5)

5. 参加者

作業療法士, 作業療法学生 50名限定(定員に達した場合は抽選となります)

6. 資料費

東京都作業療法士会員:2,000円 他士会員:3,000円 学生・一般:無料

7. 申込み方法

QRコードから必要事項を入力して受付ください。締切は8月14日(水)18時です。その後、定員に達した場合は抽選となります。最終的な受講決定の有無は8月16日(金)に全員宛にメールします。



8. 問い合わせ先

医療法人佑樹会介護老人保健施設なごみの里 作業療法士 上村淳(かみむら あつし) 宛

(勤務先代表 メール:kamimura@yuuki-kai.com FAX:042-549-1231)